

あなたの理解が
支えになります

認知症を学び、認知症の人や家族を見守る 「応援者」になりませんか

町では、応援者「認知症サポーター」の養成に力を入れています。町内の小・中学校、地域のサロンなどで認知症サポーター養成講座を開催しており、これまで、2,400名を超える方々が受講しています。講座では、認知症について正しい知識や接し方を理解し、地域で認知症の人とともに生きる方法を学びます。講師として、介護施設や包括支援センターの職員など18名のキャラバン・メイト*が町内で活動しています。

*キャラバン・メイトとは、認知症サポーターを養成する講師のことで、講師になる研修を受講しています。

8月17日(木)、サロン「Turamise面見せ」の皆さんが受講しました。同サロンでは、年に1回受講しており、繰り返し受けることで理解を深めています。

今回講師を務めた「医療法人玲心会 介護老人保健施設サンセリテのがた」作業療法士の橘 拓真さんにお話を伺いました。

橘さん「施設を利用しているご家族の中で、認知症の家族との接し方が分からない方や、介護ストレスを抱えている方が多く、課題に感じていました。地域の方に認知症について理解してもらい、認知症の方が住み慣れた安心できる場所で過ごすことができるように活動したいと思い、4年前にキャラバン・メイトに加わりました。今回は、認知症と診断されたときにどうしたら良いのか、大崎町で利用できる制度や「家族の集い」についても紹介しました」



橘さん(写真前列中央)とサロンの皆さん

認知症サポーター養成講座受講者の声

小学校・中学校

- 認知症の人は、あまり自覚がないのだろうと思っていたけれど、だれよりも苦しんでいるのだと知った。
- 一緒に住んでいる祖母が認知症になっても、優しく、その時にやりたいことをしてあげたいと改めて思った。
- 認知症の人がいたら、笑顔でゆっくりしゃべる。手助けしてあげる。相手を怖がらせないように、はげましの言葉を言ってあげたい。

サロン「Turamise面見せ」

- 昔、認知症の家族と過ごした。今のように家族の集いがあれば、お互いに良かったのかなと思う。
- サロンは毎月楽しみにしている。このような交流の場も認知症予防に良いと知り、これからも楽しみに通いたい。
- 親戚に認知症の人がいたので、そのことを思い出しながら、講座で理解を深められた。
- 知人が認知症で、以前はその人に対して怒ることもあったが、講座を受けてから怒りを抑えられるようになった。

あなたの地域や職場でも、受講しませんか？(無料)

【お問い合わせ・相談先】

● 大崎町役場保健福祉課

介護福祉係 ☎476-1111

● 大崎町地域包括支援センター

☎471-7828

病院に行くのをためらって発見が遅れたり、放置したりした結果、病気が進行してしまうケースがよくあります。「もしかして…」と思ったときに、自分自身や周囲の人が気づくことはとても重要なことです。認知症になっても、自分らしく、その人らしく、安心して地域で生活していけるよう支援していただきますので、不安なことなどありましたら、お問い合わせください。

● 会場 町保健センター

● 時間 10時～12時

● 開催日 第1日曜日(日程は変更になることがあります)

参加でき、同じような悩みを抱えている人とお茶を飲みながら、日頃の悩み相談やお話、ボール遊びなどのレクリエーションで気分転換をしながら、介護方法などの情報交換ができる集いです。